

第3章 障害者福祉団体調査

3-1 調査結果の概要

(1) 団体の概要

問1 貴団体の名称、連絡先等についておたずねします。

- ・市内11団体のうち、8団体から回答があった。

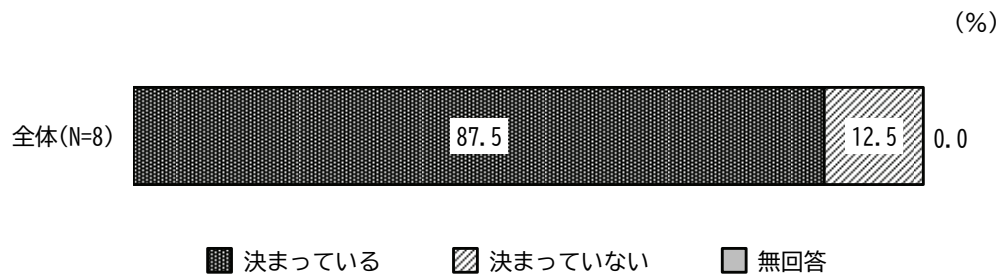
問2 貴団体の令和元年9月1日時点の会員数、運営に携わっている人数を記入してください。

- ・会員数の平均は54.8人となっている。
- ・運営に携わっている人数の平均は7.6人となっている。

問3 貴団体の活動拠点は決まっていますか。(1つに○)

- ・8団体中、7団体は「決まっている(87.5%)」と回答している。具体的な場所は、「府中市文化センター」、「府中市市民活動センタープラッツ」、「府中市立ふれあい会館」など市内施設が多く、1団体は民間のマンションを借りているとなっている。

図表 活動拠点の有無(全体)



問4 貴団体の運営にかかる経費の収入源は何ですか。次の項目の中から、収入が多いものから順に、
 へ番号を記入してください。(それぞれ番号を1つ記入)

- ・収入源として最も多いものは、6団体が「会員からの会費」(75.0%)と回答している。2番目に多いものは、5団体が「市からの補助金」(62.5%)と回答している。

図表 運営経費の収入源(全体)

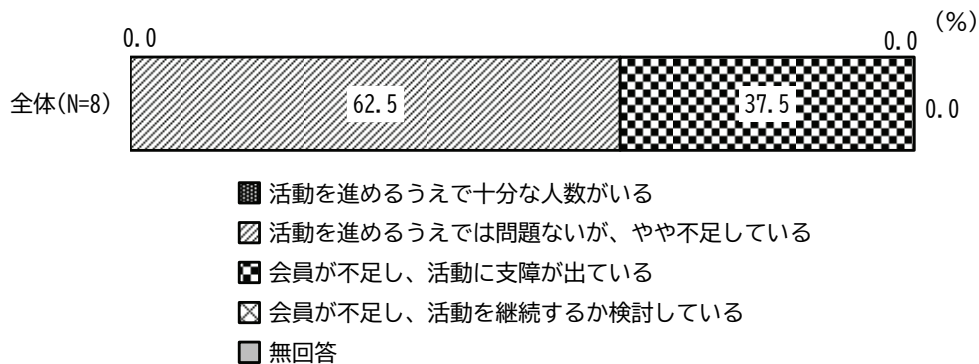
(N=8)	最も多いもの		2番目		3番目	
	団体数	割合 (%)	団体数	割合 (%)	団体数	割合 (%)
市からの補助金	1	12.5	5	62.5	0	0.0
市以外からの補助金	0	0.0	0	0.0	2	25.0
寄付金	1	12.5	0	0.0	1	12.5
会員からの会費	6	75.0	1	12.5	1	12.5
事業収入	0	0.0	0	0.0	1	12.5
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	2	25.0	3	37.5

問5 貴団体の活動に関わる現在の会員の充足状況についておたずねします。

(1)現在の会員数は活動を進めるうえで足りていますか。(1つに○)

- ・「活動を進めるうえでは問題ないが、やや不足している」が5団体(62.5%)で最も多く、次いで「会員が不足し、活動に支障が出ている」が3団体(37.5%)となっている。

図表 活動する上で足りているか(全体)

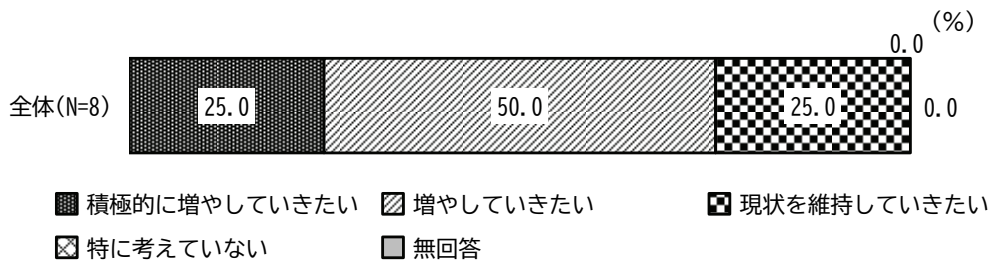


問5 貴団体の活動に関わる現在の会員の充足状況についておたずねします。

(2)今後の会員数の充実について、どのように考えていますか。(1つに○)

- ・「増やしていきたい」が4団体(50.0%)で最も多く、次いで「積極的に増やしていきたい」、「現状を維持していきたい」がそれぞれ2団体(25.0%)となっている。

図表 今後の充実に向けて(全体)



問5-1 問5で「1」または「2」と回答された方におたずねします。

貴団体では、会員を増やすために何か取り組みを行っていますか。(1つに○)

- ・問5で「積極的に増やしていきたい」、「増やしていきたい」と回答した6団体すべてが、会員を増やすための取り組みを「行っている」(100.0%)と回答している。

図表 会員を増やすための取り組みの有無(全体)



問5-2 問5-1で「1.行っている」と回答された方におたずねします。

貴団体では、どのような取り組みを行っていますか。

- ・ 活動の担い手を増やす取り組みとして行っていることは、チラシや会報の配布、学習会・講演会などでの呼びかけ、相談利用者や利用者の家族への案内となっている。

<具体的な意見>

【府中市パーキンソン病友の会】

- ・ 月例会に一般参加の呼びかけを実施している（府中市の広報誌に年2回掲載）。
- ・ チラシを作成し、市民活動センターに置いている。また近隣薬局にも依頼している。
- ・ ケアマネジャーや看護師他、患者間の口コミ。

【府中市視覚障害者福祉協会】

- ・ 定期的につどいを開催したり、ブログ等で啓発している。

【府中市肢体不自由児者父母の会】

- ・ 年3回会報を発行し、会員以外の人に情報提供をする。
- ・ 会員が学校の同級生など、自分の身近なところにいる人に呼びかけをしている。
- ・ 学習会等の案内を会員以外も対象にして行っている。

【「つばさの会」府中】

- ・ 毎年「聴こえ」に関する講演会を催し、市報に載せたりサークルなどにチラシを配布し、参加を呼びかけている。また、アンケート用紙に今後の講演会のお知らせ希望欄を作り、希望の人にはチラシを郵送している。

【府中進行性筋萎縮症協会】

- ・ 病院等で出会った同じ病気の方に、会の行事や毎月行っている定例会に誘っている。

【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

- ・ 相談にいらした方が、相談に満足し、かつ入会を希望される方に入会していただいている。
- ・ 「いこいの部屋」を利用された方の家族が入会を望む時に入会していただいている。
- ・ 口コミで当会を知り、訪ねていらした方で入会を望む方に入会していただいている。

問6 活動するうえで困っていることはありますか。(いくつでも○)

- ・「後継者問題」が7団体(87.5%)で最も多く、次いで「財政的支援」が4団体(50.0%)、「活動場所の確保」、「社会の認識」、「人的支援」がそれぞれ3団体(37.5%)となっている。

図表 活動する上で困っていること(全体)

(N=8)	団体数	割合(%)
事業の企画	2	25.0
運営方法	0	0.0
活動場所の確保	3	37.5
会員の意識	2	25.0
後継者問題	7	87.5
社会の認識	3	37.5
ネットワークづくり	1	12.5
行政支援	0	0.0
財政的支援	4	50.0
人的支援	3	37.5
その他	1	12.5
特にない	0	0.0
無回答	0	0.0

(2) 団体の相談支援体制について

問7 貴団体では、障害者福祉に関する市の相談体制についてどのようなことを望んでおられますか。

- ・市の相談体制に望むことを自由記述形式でたずねたところ、切れ目のない相談体制やいつでも相談できる環境、他分野との連携、相談や窓口における職員の専門性や質が求められている。
- ・また、障害者福祉団体への情報提供のあり方や当事者同士の相談環境のほか、一般市民の精神保健の相談窓口の充実についても期待されている。

<具体的な意見>

- ・障害者福祉団体への情報提供のあり方について検討を要望します。市担当者と各団体との相互コミュニケーションにより、もっと密な相談体制確立の可能性が高いと考えます。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・専門の相談員も必要ですが、障害者には同一の障害を持った当事者による相談が有要だと思います。【府中市視覚障害者福祉協会】
- ・◆ライフステージが変わっても切れ目なく継続して相談できること。◆24時間、休日も緊急時に対応できること。◆相談員の専門性(知識・対応の仕方)があること。◆他分野との連携が確保されていること。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・難聴者に対する理解が殆どないと思います。市職員ですら「聴こえません」と言うと、大きな声で話されます。大きい声を出したら聞こえるというのは間違いです。「筆談」をお願いしたいです。【「つばさの会」府中】
- ・障害者福祉の充実。ケースワーカーの人数、経験などに不足があると思います。相談してもきちんと向き合ってもらえません。【府中市自閉症児者親の会】
- ・いつでも相談できる場が身近にあり、必要に合わせて専門的な分野との連携、ネットワーク作りができるよう支援する相談体制を望みます。その時々で相談ができる体制と、乳幼児期、学齢期、学校卒業後、親亡きあと、と相談内容が引き継がれて、生涯を通して相談ができるような体制を望みます。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・一般市民の精神保健の相談窓口の充実として、自殺や暴力事件を防ぐためにも、予防的な意味で都の保健所、市の「障害者福祉課」以外の一般市民の健康を守る部署で、精神的に不安のある一般市民の相談や、いじめ等の被害を受けている市民の相談も、精神医療機関にかかる前の段階で臨床心理士や看護師、保健師に傾聴していただけるような体制ができないでしょうか。聞いてもらえるだけで孤立・絶望から開放され、持ち直す人は多いと思います。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

(3) 災害時の支援について

問8 震災等の災害時に、障害等のある人々が安心して過ごせるために、どのような支援が必要だとお考えですか。避難所の問題、救出方法の問題等、どのようなことでもけっこうですのでご記入ください。

- ・災害時にどのような支援が必要かたずねたところ、避難所に関する意見が多い。特に早期の福祉避難所の開設が求められている。その他に避難所等の情報の伝達方法、避難所での行動の仕方、駐車スペースなどの避難所の環境について希望がでていいる。
- ・また、医療機関との連携、備蓄や電源の確保策、地域の要援護者を把握し支える仕組みについても意見が出ていいる。

<具体的な意見>

- ・障害等のある人への対応は一般対応と異なり、医療関係との連絡も密に行う必要があります。資格を持った障害者対応担当者の確保をお願いします。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・避難所への避難のアナウンスがされていましたが、その場所に行ってどうするか、具体的な説明を受けながら実践的な訓練の指導をしてほしい。【府中きすげの会】
- ・一般の避難所では、視覚障害者が生活することは困難だと思われまます。例えば、食料を配給すると掲示板に書かれても、視覚障害者はそれを見ることができないため、食料にありつけないケースがあると考えられます。また、トイレの場所なども初めての場所は誘導がない限り行けません。視覚障害者は、安全であれば避難所よりも自宅の方が安心できます。【府中市視覚障害者福祉協会】
- ・◆肢体不自由者が避難するためには車が不可欠になるので、避難所に駐車スペースを確保することが必要です。◆避難所開設等の情報伝達手段を複数確保し、確実に要支援者に届くようにしてほしい。◆福祉避難所の早期の立ち上げが必要です。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・◆台風の時、市の拡声器による呼びかけは何を言っているかわからなかった。◆スマホに緊急速報が入るかわからない、障害者の避難場所の提示がなかった。◆災害課に電話しても繋がらなかった。【「つばさの会」府中】
- ・避難所で一般の人達と一緒に過ごすことには無理があります。特に自閉症の人にとっては混雑した中で平静でいられることは難しく、始めから別の場所を設けてほしいです。【府中市自閉症児者親の会】
- ・長期間停電となった場合、特に24時間人工呼吸器を装着している患者は、個人での蓄電池の確保が必要だと思いまます。様々な障害に合った対応ができる福祉避難所を、特別支援学校や作業所などを利用して開設し、備蓄物や自家発電機や必要なものを予算化することが必要だと考えまます。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・◆平常時から障害等のある人で救出を希望する方を地域の支援体制の中で把握しておき、災害発生時に誰が助けるのか、担当者を決めておいてはどうでしょう。近所の方やボランティアでもよいとし、普段から顔を合わせ、お互いを知り合っておきまます。◆避難所は、発達障害のように音や光に敏感な方や、障害や精神症状のために人とうまく共同生活ができない方のために、二次的な避難所を用意しまます。一般の避難者は利用できないことにして、一般の方には知られない方がよいと思いまます。◆交

通手段が使えない場合、救出を希望された方の住所・電話番号などを消防署等に知らせ、個々の安否確認と救出をお願いしてはどうでしょう。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

(4) 制度の谷間にある方への支援について

問9 現状では、障害等のあるすべての人が必要なサービスを受けられる制度になっていません。障害者福祉制度の谷間にある方々に対する支援としてどのようなことが必要とお考えですか。

- ・福祉制度の谷間の問題について自由記述形式でたずねたところ、福祉制度の谷間にある方々の把握、個々の相談に対応できる支援や相談窓口の整備、趣味活動による仲間づくり支援などが望まれている。

<具体的な意見>

- ・人的支援対応の柔軟な運用が必要と考えます。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・障害者団体にアンケートをとって、一番困っていて助けてほしいことを聞き出し(ケースバイケースなので)、きめ細かく対応し、解決してあげることが必要だと思います。【府中きすげの会】
- ・例えば、重症心身障害ではない医療的ケア児者は、短期入所を利用できない場合が多いです。現行制度の中で対応が難しい人のサービスについて、市が加算措置をするなどして対応する必要があると思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・町会体制を利用して、町会ごとにひとり暮らし、障害者、問題を抱えている人などを把握し、市に状況を届け出るとしてはどうでしょうか。【「つばさの会」府中】
- ・「制度の谷間」といっても、障害の幅は広く深いので、まず何が谷間となっているかを把握することが最初だと思われます。【府中市自閉症児者親の会】
- ・福祉制度の谷間にある方々に制度の仕組みや利用できる事業所の紹介など、個々の相談に丁寧に対応できるような支援が必要だと考えます。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・◆話を丁寧に聞いてもらえる場、困りごとを正直に話せる場を創り、市報などで参加を呼びかける。
◆地域の人々の役に立つ活動で、本人がやりがいと価値を感じる役割の創設。できれば有償参加で、自立できる方向での支援。◆地域の企業の理解ある雇用の拡大。◆趣味へのつながりと趣味仲間をつくる支援。費用は一定限度内で公費負担をしてほしい。◆趣味活動をしている方々の実績を、シンポジウムを開催するなどして市民に知ってもらう。◆定期的に相談を受けられる窓口の整備。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

(5) 地域共生社会づくりに向けた協力意向について

問 10 平成 28 年度に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」にて、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、だれもが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現が求められています。地域共生社会の実現に向けて、府中市民にもっと意識を持ってもらうようにするには、貴団体としてどのようなことができますか。

- ・ 地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発の取り組みを自由記述形式でたずねたところ、学習会や講演会などを通しての啓発、市や社会福祉協議会の事業への参加を通じた啓発活動などの回答があった。

<具体的な意見>

- ・ 医療講演会を開催し、専門的情報を定期的に発信します。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・ 社会福祉協議会の「わがまち支えあい協議会」に参加する。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 私達難聴者は、手話、筆談などなかったら、他者とのコミュニケーションは取れません。多くを要約筆記者、手話通訳者に支えられています。他者とのコミュニケーションの取れない私達が支え手になれるとしたら、それは同じ障害のさみしくされている方を会に誘って同じ仲間として元気をあげることです。【「つばさの会」府中】
- ・ 障害から逃げずに障害と向き合って、地道に社会生活(日常生活)を営んでいくことで、周囲への働きかけを果たしていると思います。【府中市自閉症児者親の会】
- ・ 障害や難病についてまずは知ってもらうことが大事であるため、福祉まつりや市や社会福祉協議会で開催される行事に積極的に参加し、啓発していきます。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・ 市民学習会や講演会などを開催できれば、当会の役員が出席して、そこで「地域の共生社会を実現するためには、日々の家族同士や住民同士での「温かい対話」がいかに大切であるか」を、先進国の精神保健医療での対話による治療(「オープンダイアログ」「未来語りのダイアログ」)による成功例等をあげて、お話しすることはできます。その「対話」により、市民同士の信頼とつながりが深まり、地域の困りごとの解消に向けて一緒に喜びを持って活動し、発展させられる可能性が高まります。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

問 11 地域共生社会の実現に向けて、府中市民に意識を持ってもらう取り組みのほかに、団体として何か協力できることはありますか。

- ・ 市民向けの意識啓発の取り組みのほかに、地域共生社会に向けて協力できることはあるか自由記述形式でたずねたところ、市とのコミュニケーション強化、市民とつながる機会への参加や講演活動、団体が実施する傾聴事業などの回答があった。

<具体的な意見>

- ・ できる範囲で協力していこうと考えますが、まずは市と団体のコミュニケーションの改善、強化ではないかと考えます。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・ 私達団体は、平均年齢85歳近くで、地域包括支援センターにお世話になる人々の集まりで、他のお世話ができません。お世話になることが多いので、地域共生社会でのお手伝いができる立場ではありません。【府中きすげの会】
- ・ 福祉まつりなど市主催の行事に積極的に参加する。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 残念ながら団体としてはその余力はありません。【府中市自閉症児者親の会】
- ・ 芸術やスポーツが日常的に一般市民と楽しめるような色々な機会に積極的に参加していく。学校などで障害や難病の理解を深めるよう講演を行う。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・ 市民の悩み事を、当会の事務所を使い、ただ傾聴するだけのサービスはできます。もちろん、個人情報のお秘密は厳守されます。誰でも苦しみがある人は、適切に聞いてもらうことにより、心のストレスが軽減されます。市民同士の支え合いの一環となればありがたいです。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

(6) 障害福祉施策について

問 12 平成 28 年度 4 月より「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行され、国・地方公共団体等は「不当な差別的取扱いの禁止」「合理的配慮の提供」が法的に義務付けられています。なお、「合理的配慮の提供」については、平成 30 年 10 月施行の東京都条例下において民間事業者も義務化されました。

貴団体は障害等のある人への合理的配慮として、特に必要だと思うことは何ですか。また、合理的配慮の好事例がございましたら、合わせてお書きください。

- ・ 障害者に対する合理的配慮として、特に必要なことを自由記述形式でたずねたところ、障害に対する理解促進、当事者の立場に立った支援、障害特性を踏まえた情報提供のあり方、施設設備が求められている。
- ・ また、教育環境では設備や人的配置の配慮、インクルーシブ教育が望まれている。

<具体的な意見>

- ・ 相互理解が必要なことは当たり前のことですが、到達点として世代を超えた先を見据えて、地道に一步一步続けることが必要です。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・ 飲食ができる場所に、注入道具などを洗浄する場所、設備を提供してほしい。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 公的機関主催の講演会には必ず、情報保障をつけて頂きたい。「必要な人は連絡ください」の一言をチラシに載せてほしい。また、問い合わせ先の電話番号に F A X 番号も載せてほしい。聴こえの悪い人たちへの配慮が本当に欠けています。【「つばさの会」府中】
- ・ 自閉症スペクトラムの人達の困りごとは、人によって大きく違うので、まず「障害への理解」を持ってください。【府中市自閉症児者親の会】
- ・ どんな障害があっても、本人の望む場所で教育が受けることができるよう、設備や人的配置が適切に提供されることが必要で、可能な限り地域で共に学べるインクルーシブ教育が必要だと思います。(事例：普通学校でトイレの改修工事やスロープの設置などを行い、介助者をつけて共に学ぶことで、良い関係を築き、卒業後も友達関係を継続している。)【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・ ◆当事者を「障害者」として上から見るのではなく、普通の人間としてみる。普通の人々が精神症状(障害)で困っていると考え、こちらも同じ立場に立つ努力をして一緒に解決策を考える。◆できないことに目を向けるのではなく、人間として美しい精神面や障害がありながらも努力している面を高く評価して受け入れ、自信が高まり前に進めるように接する。◆当会の当事者の居場所「いこいの部屋」に新しい方が来て、その方が症状の苦しさから仲間を責め立てたりするので、誰も来なくなったことがある。スタッフはその方の良いところを認め、人間関係を調整した結果、皆に受け入れられるようになり、また皆が集まるようになった。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】

問 13 府中市では、府中市福祉のまちづくり計画や障害者計画等に基づいて、市内におけるバリアフリー施策を推進しています。

貴団体は府中市のバリアフリー施策に関して、どのようなことを期待しますか。

- ・市のバリアフリーの施策で期待することを自由記述形式でたずねたところ、ハード面のバリアフリーに関する意見が多いが、バリアフリー施策の検討のあり方、ハード面以外のバリアフリーの配慮や就労における待遇などの意見も寄せられている。

<具体的な意見>

- ・府中駅の再開発を例にあげると、全体計画においてバリアフリー化を十分に検討されたかどうか疑問視されるような結果となっているように感じます。今後の計画では、バリアフリーに特化した検討ではなく、もっと当たり前のこととして、計画立案を期待したいです。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・車いすでどこにでも行ける建物や部屋、道など、車いすで行動、家から一歩出ても自立できる整備をしてほしい。【府中きすげの会】
- ・◆一定の人数が利用する駅、商業施設、文化施設、医療機関等に大人が使用できるオムツ替え用のシートを、多目的トイレに設置する。◆様々な場面において、障害者も含め、いろいろな人がいるということを念頭におけるように市民に啓発する。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・できれば歩道の幅を広くして、自転車、子供連れ歩行者が安心して行き交えられるようにしてほしい。【府中市自閉症児者親の会】
- ・施設や道路など、ハード面のバリアフリーだけでなく、すべての障害者団体にヒアリングしていただき、ユニバーサルデザインに配慮されたバリアフリー施策になることを期待します。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・◆最近、府中市の職員募集において、精神障害者もようやく対象に入れられましたが、待遇面で身体障害者に比べてやや責任の軽い位置づけになっています。本人の希望があり、能力が同じであれば、同じ待遇にすべきです。◆府中市の市民の精神的健康面における対応で、「精神障害者」と「健常者」との間に大きな開きがあると感じています。市民が精神的に不調を感じた時に「障害者福祉課」に相談に行くのは、自分をはじめから「精神障害者」の仲間入りさせるようで、大きな抵抗を感じると思います。一般市民が気楽に相談でき、障害者になるのを防ぐ体制が必要です。【府中市精神障害者を守る家族会(通称：府中梅の木会)】

問 14 府中市の障害等のある人の施策に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・市の障害福祉施策への意見・要望について自由記述形式でたずねたところ、就労支援、人材の確保・育成、情報提供のあり方や障害等のある人の意見を聞く取り組みなどの幅広い意見が寄せられている。

<具体的な意見>

- ・広報誌の発行において、一般と障害等のある人の区別をせずに、誰もが互いに理解し合える誌面づくりを期待します。「福祉」の内容をもっと一般誌面に載せてほしいです。【府中市パーキンソン病友の会】
- ・施策の具体的内容が勉強不足ですが分からないので、意見などが書くことができません。【府中きすげの会】
- ・◆障害者に関する施策だけでなく、市が取り組む幅広い事業について、障害者の意見を聞く機会を持ってほしい。◆市の窓口業務が平日の9時から午後5時までになっており、就業している保護者が手続きをできないので、時間延長や休日の窓口対応を検討してほしい。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・基幹相談支援センターを設置し、市の直営で経験を有する専門職の職員を十分な必要な人数確保して運営し、福祉の担い手となる人材を育ててください。【府中市自閉症児者親の会】
- ・通勤が困難であったり医療的ケアが必要な障害者も、在宅で就労できる機会を今後も継続拡大してほしい。個々に福祉・医療・保健のネットワーク作りをして、いつまでも地域・在宅で安心して暮らせるような社会であることを願います。【府中進行性筋萎縮症協会】
- ・当事者の意見や気持ちを、対面しながらもっともっと拾い上げ、市民や行政、支援者が直接的に理解するための長期的取り組みが必要です。行政や支援者は、法律や制度に従い、調査結果に基づいた間接的理解をもとに活動しているので、当事者のニーズの一面しか見えず、見えている部分に、今できる範囲で対応しているのが実態です。当事者は、行政や支援者が分かっていない苦しみを個人として抱え、自らの辛い境遇を諦めの気持ちで受け入れながら日々を過ごしています。【府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)】